

ふたつになった大師さん



厨子を背負い、札所を巡拝

いまでは東葛飾・印旛大師組合という「送り大師」の行事がある。柏・沼南・白井・鎌ヶ谷・松戸に配置された四国八十八箇所の写し札所を5月1日から5日間かけて大師を背負って回る大師講。今年は結願区の沼南・鷺野谷を出発、逆井では69番札所と48番札所を回る。開創は文化5年(1808)

↑写真は観音寺観音堂におまいりする遍路さん

盗まれたお大師さんが戻ってきたんだってね」お遍路さんがささやく。
五月一日に結願区の沼南・鷺野谷を出発した送り大師の一行は三日、観音寺69番札所に寄り、続いて県道沿い、弁財天の緑に包まれるようにして、ふたつの大師像を収めた48番の札所をお参りする。

盗まれた大師さんは戻ってきた、そして元の札所へ



ふたつ大師さんが収まっている48番札所

ふたつのお大師さん。前座に座っているのが盗まれ、戻ってきた昔からの48番札所のお大師さんだ。お遍路さんのささやきには、ほっとする気分がある。
盗つ人は、どんな気持ちで、座高30センチを抱いて逃げたのだろうか。
この札所をお守りしている地続きの日暮さんは、新しい大師像を作り収めた。盗まれた大師像は発見される。
うちの山に捨てられていた。きちんと座らせてあつた」日暮さんはそう言う。放り出しておかれたのではなかった、と。そして新旧ふたつが並んでおかれた。
送り大師の遍路さんを乗せたマイクロバスが、ひっきりなしに到着する。そして、次の78番・藤心の宗寿寺を目指す。
夜来の雨も上がったようだ。
逆井の送り大師の札所は、観音寺境内の69番と弁財天そばの48番のふたつ。69番は讃岐の同名の観音寺の写し。48番は伊予(愛媛県)の西林寺(さいりんじ)の写し札所だ。西林寺近辺は、弘法大師が清水のわく水脈を探し当てたという、水の豊富などころ。それを模した弁財天の近くは田んぼで、川が流れていた!

末広クラブ・逆井漫步117 平成20年5月